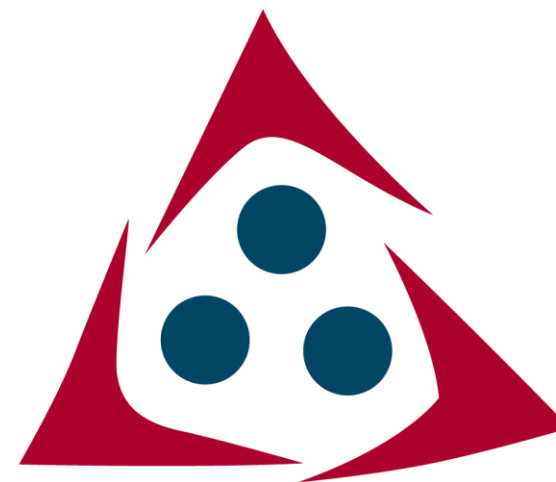


2025年12月期 第1四半期 決算説明資料

2025年5月15日 株式会社ラキール
(東証グロース：4074)



LaKeel

1. 第1四半期 決算ハイライト
2. 業績推移と連結決算の概況
3. 事業の特色と成長戦略
4. Appendix



1. 第1四半期 決算ハイライト

第1四半期 決算ハイライト

増収増益（プロダクトサービスは増加、プロフェッショナルサービスは減少）

連結業績

前年同期比

増収／増益

プロダクトサービス売上

前年同期比

22.6%増
(2.7億円増)

プロフェッショナルサービス売上

前年同期比

20.0%減
(1.7億円減)

営業利益

前年同期比

45.5%増
(1.2億円増)

経常利益

前年同期比

49.5%増
(1.3億円増)

純利益

前年同期比

49.7%増
(0.9億円増)

※ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載



LaKeel

Proprietary and Confidential

Copyright © LaKeel, Inc. All rights reserved.

第1四半期 決算ハイライト（プロダクト）

LaKeel製品のサブスク売上は堅調に推移

プロダクトサービス売上比率

前年同期比

57.6% ⇒ 67.6%

サブスク※1ユーザー数

前年同期比

8.3%増
(27ユーザー増)

327ユーザー ⇒ 354ユーザー

サブスク※1売上

前年同期比

26.1%増
(69百万円増)

267百万円 ⇒ 337百万円



MRR(月間経常収益)※2

前年同期比

26.1%増
(23.3百万円増)

89.2百万円 ⇒ 112.5百万円

ARPU(ユーザー平均単価)※2

前年同期比

16.5%増
(4万5千円増)

27万2千円 ⇒ 31万7千円

※1 LaKeel製品を対象としたサブスク

※2 MRR(月間経常収益)は四半期のサブスク売上を3で除して算出、ARPU(ユーザー平均単価)はMRRを各四半期末のユーザー数で除して算出



LaKeel

Proprietary and Confidential

Copyright © LaKeel, Inc. All rights reserved.

5

2. 業績推移と連結決算の概況

業績予想の達成状況

前倒しでライセンスが受注できたため、1 Q計画を上回る利益で進捗

(単位：百万円)

売上

通期業績予想：86.57億円

1 Q実績：21.81億円

進捗率

25.2%

営業利益

通期業績予想：8.00億円

1 Q実績：4.11億円

51.4%

経常利益

通期業績予想：7.85億円

1 Q実績：4.13億円

52.6%

純利益

通期業績予想：5.06億円

1 Q実績：2.82億円

55.8%

※ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載



LaKeel

Proprietary and Confidential

Copyright © LaKeel, Inc. All rights reserved.

第1四半期の決算概況（P/L）

ライセンス販売が寄与し増収増益

(単位：百万円)	FY2024 1 Q	FY2025 1 Q	増減率
売上	2,087	2,181	+4.5%
売上総利益	713 (34.2%)	871 (39.9%)	+22.1%
販管費	430 (20.6%)	459 (21.1%)	+6.8%
営業利益	282 (13.6%)	411 (18.9%)	+45.5%
EBITDA	387 (18.5%)	535 (24.5%)	+38.3%
経常利益	276 (13.2%)	413 (18.9%)	+49.5%
純利益	188 (9.1%)	282 (13.0%)	+49.7%

増収増益

- LaKeel製品（新規ライセンス）の受注により利益率が大きく改善
- コンサルティング及びプロフェッショナルサービスの減収をこなし全体では増収増益

販管費の内容

- 販管費は前年同期比で6.8%増。主な要因は、人件費や募集採用費といった人材関連費用の増加

※ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載



サービス別売上内訳

製品サービスは大幅増、コンサルティングサービスとプロフェッショナルサービスが減少

(単位：百万円)		FY2024 1 Q	FY2025 1 Q	増減率
連結合計		2,087	2,181	+4.5%
プロダクトサービス		1,202	1,474	+22.6%
製品 サービス	ライセンス	150	412	+174.5%
	サブスクリプション (LaKeel製品)	267	337	+26.1%
	サブスクリプション (LaKeel製品以外)	33	26	△20.4%
	その他	36	31	△12.5%
コンサルティングサービス		715	665	△6.9%
プロフェッショナルサービス		884	707	△20.0%
フロービジネスレベニュー		84	117	+39.1%
リカーリングレベニュー		800	590	△26.2%

プロダクトサービス

- LaKeel製品のライセンス売上は、特にLaKeel HRの販売が好調に推移。四半期毎のばらつきはあるものの通期では前期の2倍以上になる見通し
- LaKeel製品のサブスクリプション売上も堅調に推移する見通し
- コンサルティングサービスの減収傾向は2Qまで続き3Q以降の回復を計画。通期では前期と同程度の売上となる見通し

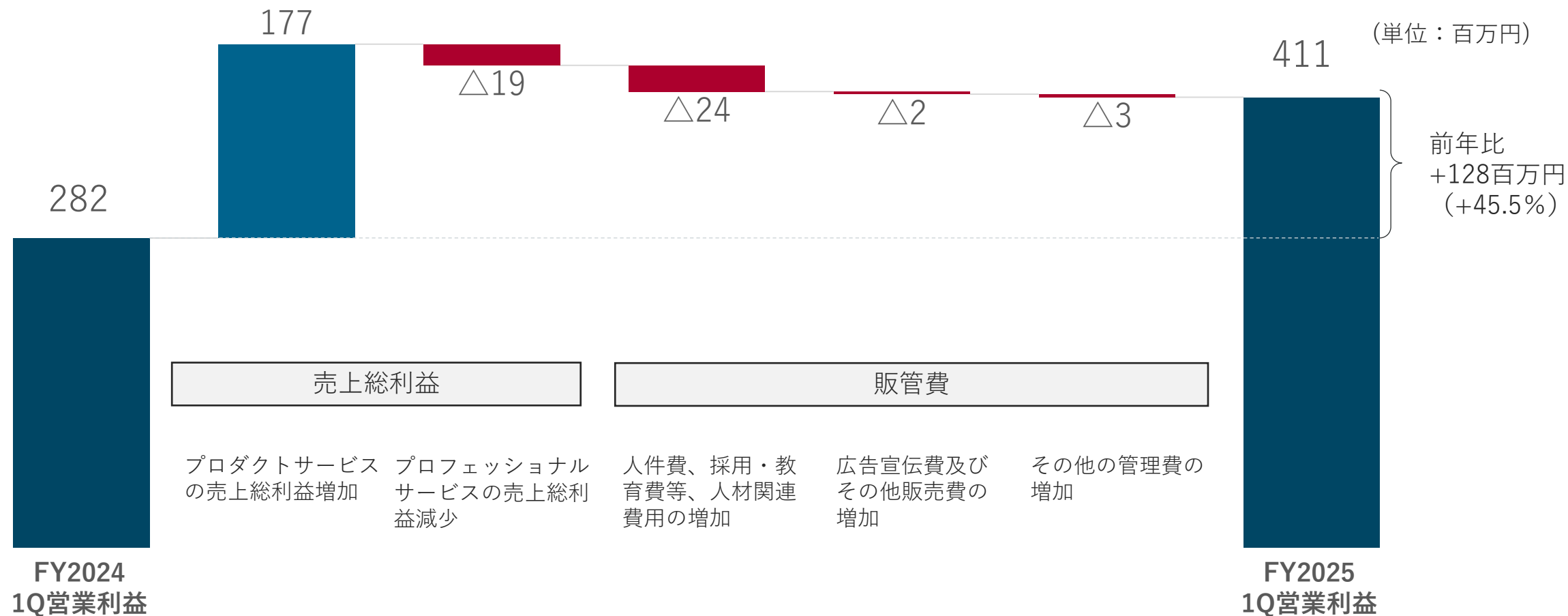
プロフェッショナルサービス

- 1Qは前年比20%減となったが、売上の減少は1Qを目処に下げ止まり2Q以降で回復。通期では前期と同程度の売上となる見通し



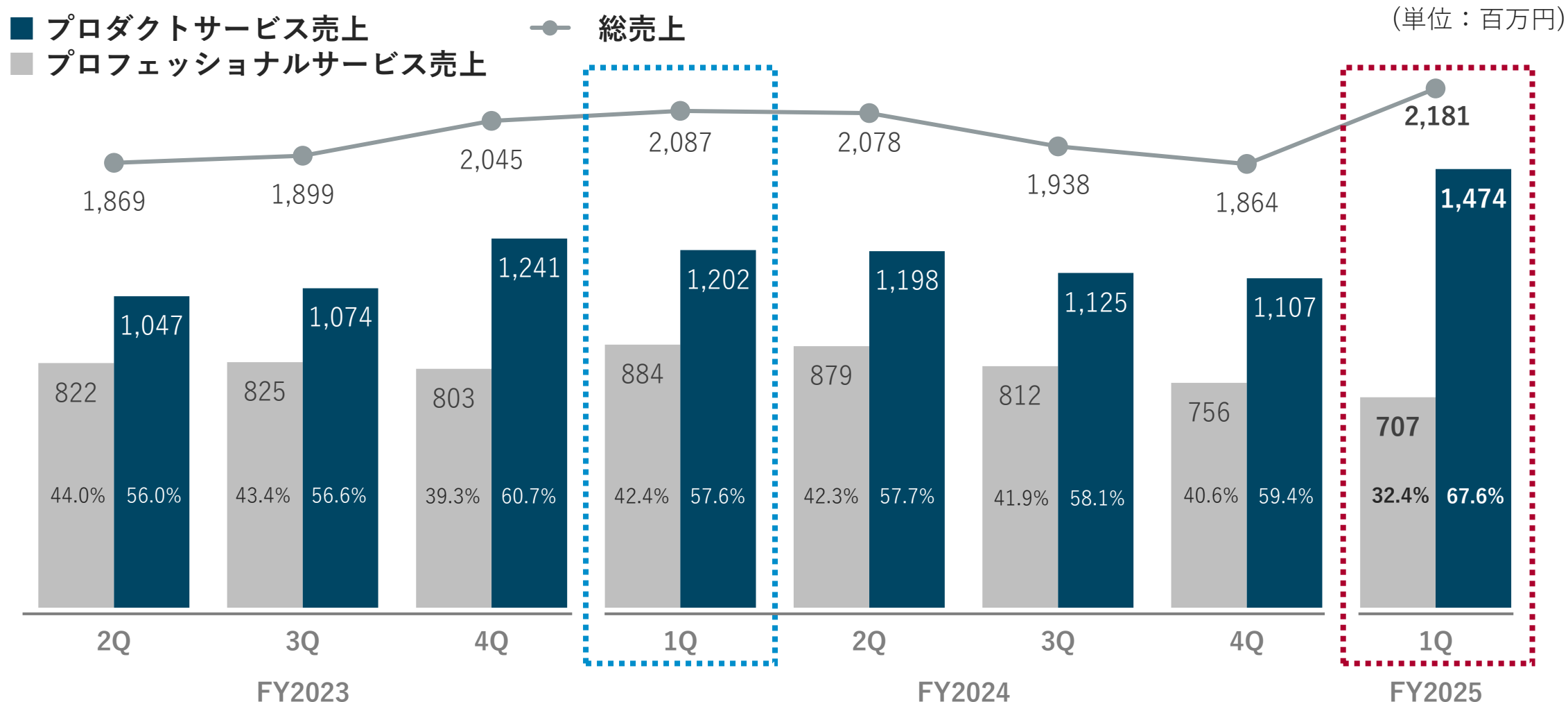
営業利益増減分析

ライセンス売上が売上総利益を押し上げ、利益大幅増に貢献



サービス別売上比率推移

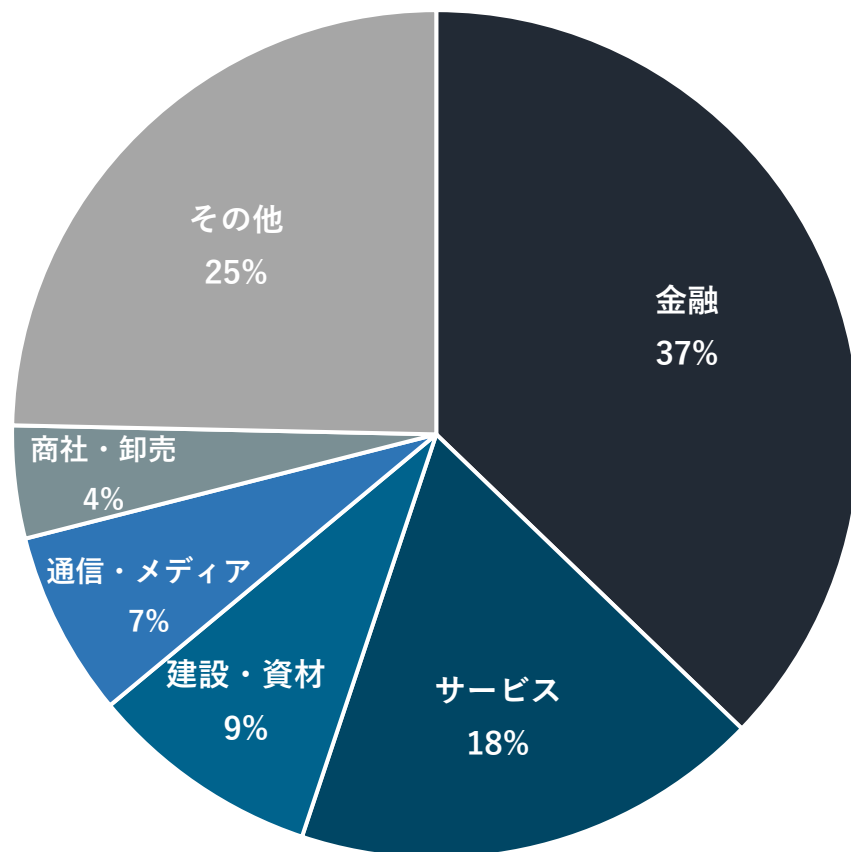
プロダクトサービスは反転し売上増に、プロフェッショナルサービスは2Qから回復見込む



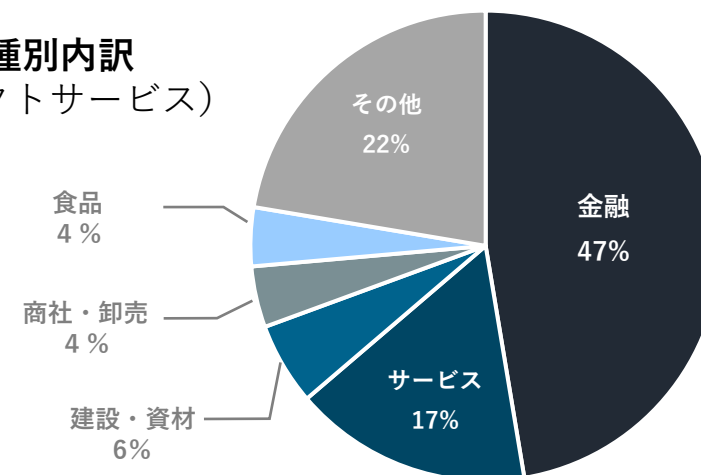
顧客の業種別売上状況

金融・サービスが売上全体の半分以上を占める

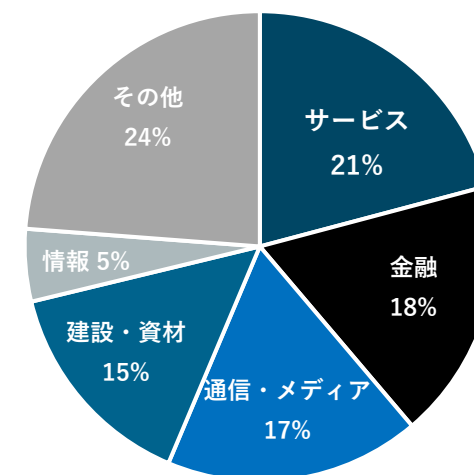
■ 売上の業種別内訳（全体）



■ 売上の業種別内訳
（プロダクトサービス）



■ 売上の業種別内訳
（プロフェッショナルサービス）

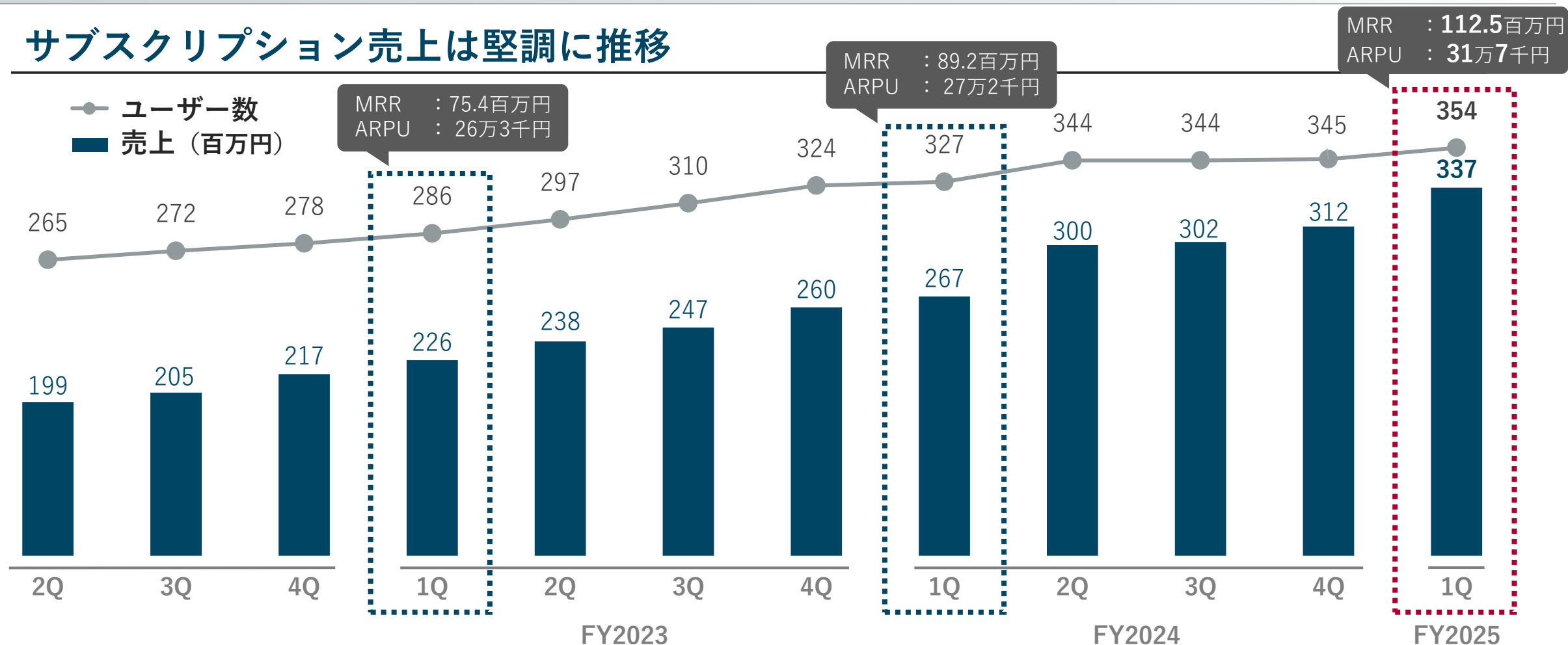


※ 2024年2Q～2025年1Q（1年間）、ラキール単体での売上実績に基づく



LaKeel製品※1サブスクリプション売上※2・ユーザー数の推移

サブスクリプション売上は堅調に推移



※1 LaKeel製品には、DX、BI、HR、Workflow、Commerce、OnlineMediaService、Data Insight、Messenger、My Number、Stress Check、Process Manager、eDocumentが含まれる。 ※2 売上は四半期の合計、ユーザー数は各四期末時点での数値。 ※3 MRR(月間経常収益)は各四半期売上を3で除して算出、ARPU(ユーザー平均単価)はMRRを各四半期末のユーザー数で除して算出。



貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)	FY2024 期末	FY2025 1 Q末	増減率 (対前年期末)
流動資産	3,492	3,811	+9.1%
現預金	2,547	2,379	△6.6%
固定資産	2,508	2,505	△0.1%
のれん	367	358	△2.3%
総資産	6,000	6,317	+5.3%
流動負債	2,047	2,095	+2.3%
固定負債	359	358	△0.3%
純資産	3,593	3,862	+7.5%
自己資本	3,573	3,843	+7.5%
(自己資本比率)	59.6%	60.8%	+1.3 P
非支配株主持分	19	19	△1.9%

財務体質

- 現預金は23.7億円、前期末比で約1.7億円減少
- 有利子負債は10.0億円（流動7億円、固定3億円）
- 自己資本比率は、60.8%

のれんの計上、償却

- 2017年11月のMBOと2018年12月の子会社取得に伴い当初約6億円を計上、期末時点の残価は3.58億円
- 効果の及ぶ期間(12年～20年)を見積り償却中

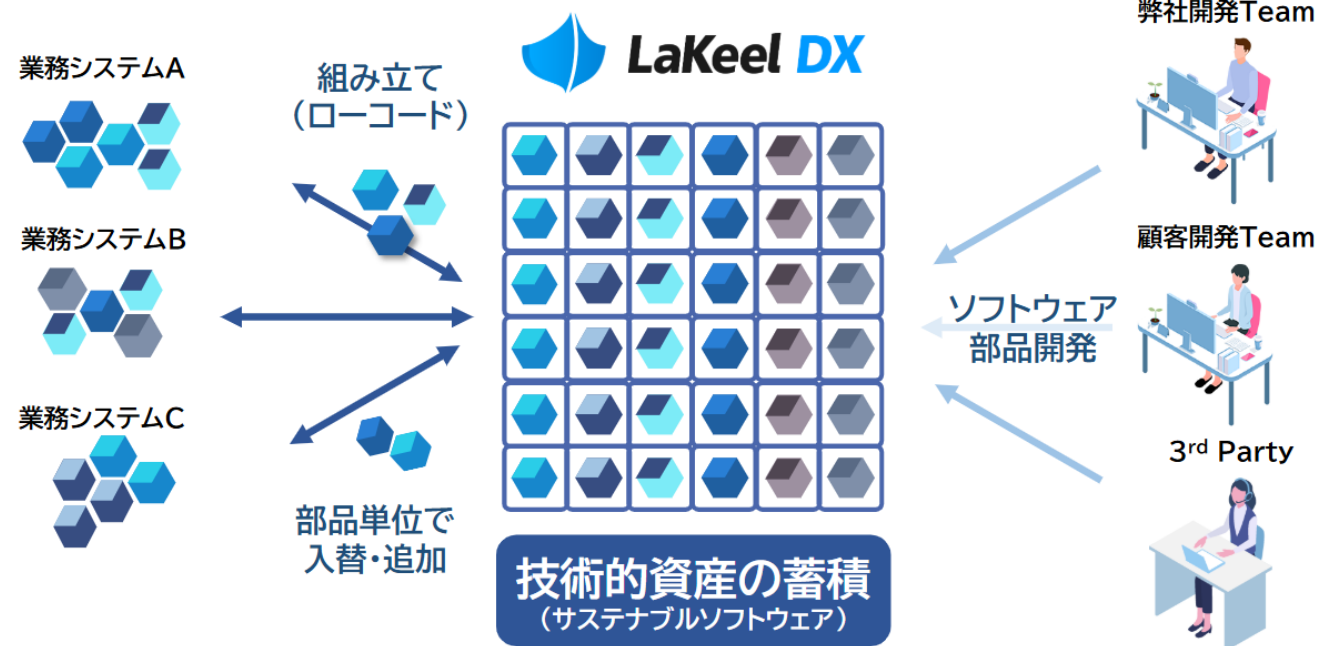


その他トピックス：組織改編 ～広島県呉市に完全子会社を設立～

最新技術を扱うシステム開発拠点で地方創生を目指す

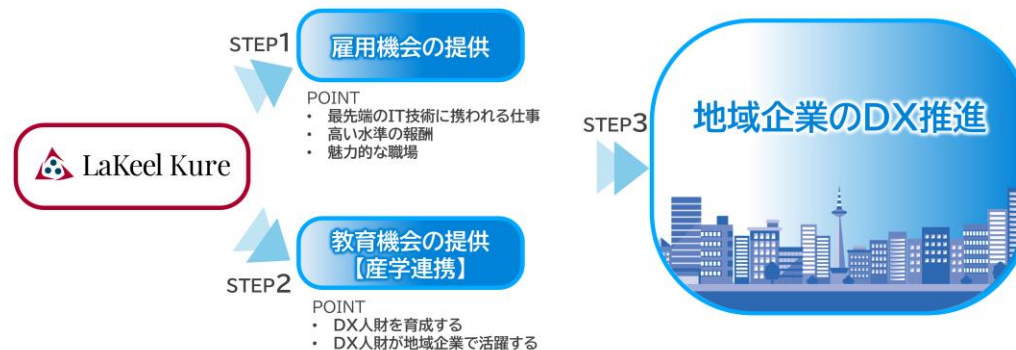
2025年4月、当社は広島県呉市に新たな拠点「呉オフィス」を開設いたしました。また同時にラキールの100%子会社である株式会社ラキール呉（以下「ラキール呉」）を設立いたしました。呉オフィス及びラキール呉では、LaKeel DXをはじめとする自社製品やソフトウェア部品の開発を行う予定です。

■ LaKeel DXによるソフトウェアの部品化と再利用のイメージ



ここにラキール呉が参画
ソフトウェア部品のや新製品開発を促進

■ 地方創生のビジョン



3. 事業の特色と成長戦略



ビジョンと事業内容

デジタルネイティブカンパニー ～明日の日常を創り出す～

企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する
2つのサービス



“デジタルとビジネスのより良い関係を創り出す”

プロダクトサービス

DX関連サービス

- LaKeel DX/Apps
 - ・ LaKeel DX：クラウドアプリケーションの開発・運用基盤
 - ・ LaKeel Apps：LaKeel DX上で稼働する製品群
- コンサルティングサービス
 - ・ LaKeel DXと機能部品群を最大限に活用する **コンサルティング**
 - ・ LaKeel DX上に収集された膨大なデータの **分析サービス**

プロフェッショナルサービス

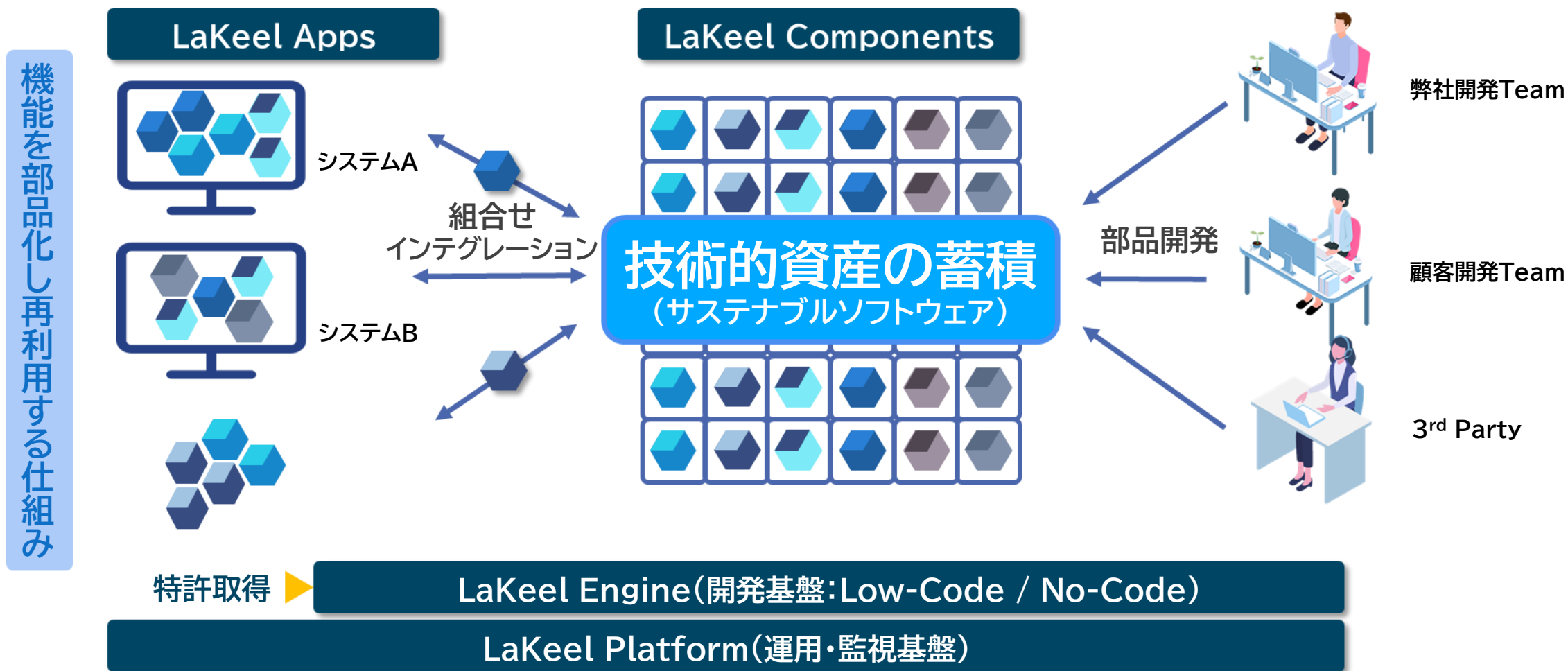
システム関連サービス

- システム開発サービス
 - ・ レガシーマイグレーション、クラウドマイグレーション
 - ・ スクラッチ開発
- システム保守サービス

サステナブルソフトウェアの提供

陳腐化せず、成長・変化し続ける技術的資産

※ LaKeel DX機能レイヤ



LaKeel

Proprietary and Confidential

LaKeel Apps (製品群)

企業を支える14種類の LaKeel Apps

BI (Business Intelligence) ツール



経営・会計・人事などの多くのデータを
集約・加工し、これを判り易く可視化し、
経営戦略のための意思決定を行う製品。



データ分析・統合管理 プラットフォーム



クラウド技術を利用し超大規模のビッグ
データアナリティクスに対応する他、マ
イクロサービス技術により可視化や分析
の先にある行動に繋げる事が可能。



戦略人事実行支援 プラットフォーム



人事戦略の実行支援がコンセプトの人事基
幹業務システム。タレントデータやピープ
ルデータなどの幅広いデータ管理、業務の
属人化を防止する業務プロセス管理、分析
に加え次のアクションの自動化などの特徴
的な機能を提供。



マイクロ・ラーニング プラットフォーム



提供するコンテンツの分野は、労働・安
全・食品・ハラスメント等。また、多言
語（英語・中国語(簡体字)・ベトナム
語・ネパール語・ミャンマー語・ポルト
ガル語(ブラジル)）にも対応。



LaKeel Messenger



ビジネスチャットツール

LaKeel Process Manager



業務プロセス管理

LaKeel Survey



アンケート収集管理

LaKeel Stress Check



企業向け
ストレスチェックツール

LaKeel Workflow



高性能ワークフローシステム

LaKeel eDocument



電子帳簿サービス

LaKeel AI Dialogue



生成AIチャットシステム

LaKeel Passport



大企業向けID管理基盤

LaKeel My Number



マイナンバー管理ツール

LaKeel Commerce



eコマースプラットフォーム



LaKeel

Proprietary and Confidential

Copyright © LaKeel, Inc. All rights reserved.

19

LaKeel AI lineup①

ラキールは、業務に必要なシステムを簡単に作れる世界を目指し、企業の生産性とビジネススピードを飛躍的に向上させることに貢献します。

LaKeel AI Navigator



ラキール“新章”ローコード開発のその先へ

生成AIを活用し、チャットでの指示によって瞬時に画面部品を構築します。システムの利用者は、自分が欲しい画面機能を即座に作れる世界を実現できます。「社員情報を登録するフォームを作成してください」などの要望・指示を伝えるだけで、必要な項目が配置され、デザインの調整も自動で行われます。

さらに、画面部品はビジネスロジック（機能部品）とシームレスに連携しているため、画面を作成することでシステム全体を構築することが可能になります。

LaKeel AI Chatbot



欲しい情報を欲しい人が欲しい時に手にする

生成AIに加え、RAG（検索拡張生成）を活用することで、大量のデータに対して自然言語での問い合わせを実施し、高精度の回答を得る仕組みを提供します。この仕組みを利用することで、企業は自社内の規定や製品仕様書、FAQなどを簡単に登録し、専用のナレッジベースを構築できます。ユーザーからの問い合わせに対しては、登録されたテキスト情報を元に生成AIが要約した回答を提供するため、従来のチャットボットでは難しかった高度な質問にも対応可能です。

LaKeel AI Dialogue



即時回答と創造力、AIで未来の働き方を

生成AIを活用した強力なチャットシステムで、従業員の日常業務を効率化する支援ツールです。リアルタイムで任意の生成AIとテキストベースの対話が可能となり、情報検索、アイデア生成、文章校正がスムーズに行えるようになります。生成AIのサポートによって、業務効率化を実現し、組織全体の生産性向上に貢献すると共に、従業員は複雑な問題を新たな視点から解決することが可能となります。



LaKeel AI lineup②

ラキールは、誰でもデータを簡単に扱うことのできる世界を目指し、データを起点にした意思決定の精度を飛躍的に向上させることに貢献します。

LaKeel BI Concierge



LaKeel BI + 生成AI = 誰でもインサイトが得られるチャット機能

データをグラフなどで可視化し、意思決定を支援する弊社の LaKeel BI に生成AIを活用することで、人間では見逃しがちな課題や洞察を見つけ出し、新たな発見や迅速な対応を可能にする機能です。この機能により、社内にデータアナリストがいなくとも、データドリブンマネジメントを実現することが可能になります。

LaKeel AI Discovery



LaKeel Data Insight + 生成AI = 専門知識不要のデータ利活用

自然な言葉で質問や指示を伝えるだけで、データの検索や集計が可能になります。ITの知識がない方でも直感的に操作でき、必要な情報を簡単に取得できるようになります。企業内のデータ活用がさらに促進され、業務効率の向上や意思決定の迅速化に寄与します。

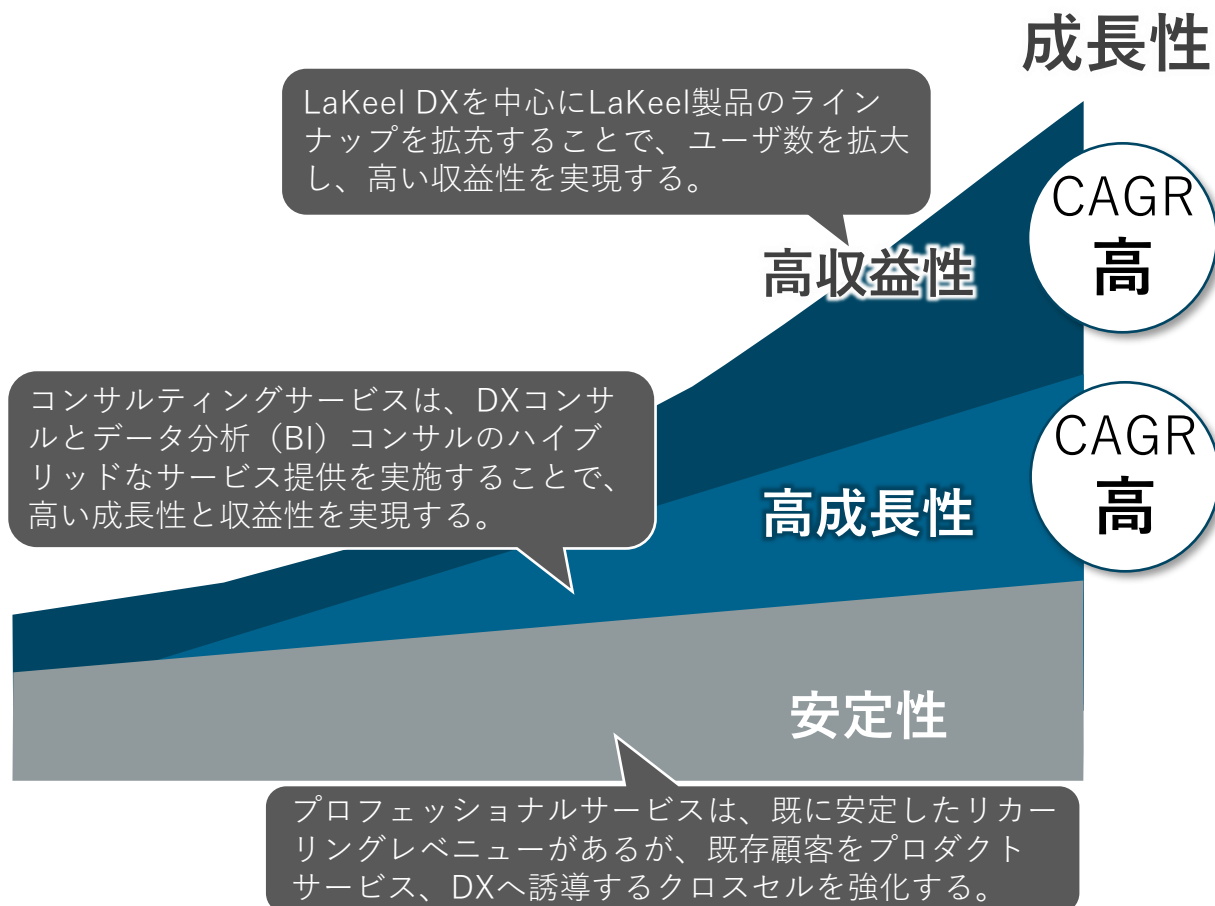


成長戦略：サービスポートフォリオ

高い収益性が期待できるプロダクトサービスに注力

長期にわたって継続的なアップセルとクロスセルを目指し、高い顧客生涯価値(LTV*)を促進する

*LTV：Life Time Value



■ プロダクトサービス(LaKeel DX/Apps)

- 高い収益性と継続性を重視した収益モデル

ライセンス型/サブスクリプション型

■ コンサルティングサービス

- 高度な技術力により高い成長性を重視した収益モデル

フロー型

■ プロフェッショナルサービス

- 安定性と継続性を重視した収益モデル

フロー型/リカーリング型



成長戦略：DX市場規模

DX 国内市場 (2030年予測)

6兆5,195億円

2兆7,277億円

2022年度

2030年度

出所) 株式会社富士キメラ総研
「2023 デジタルトランスフォーメーション
市場の将来展望 市場編」

DX当社ターゲット (2030年予測)

7,605億円

3,548億円

2023年度

2030年度

出所) DX国内市場の成長に合わせ、
CAGR11.5%として当社でグラフ化

DX 世界市場 (2030年予測)

3兆1,449億米ドル

471兆7,350億円 (¥150/\$換算)

出所) 株式会社グローバルインフォメーション
「デジタルトランスフォーメーションの世界市場 (～2030年) :
提供区分 (ソリューション・サービス)・技術 (クラウドコンピュー
ティング・ビッグデータ&アナリティクス・ブロックチェーン・
サイバーセキュリティ・AI)・ビジネス機能(会計&財務・IT・人事)
・産業・地域別」

既存取引先データ

既存取引先社数：340社

当社2023年実績より

売上：112兆6,439億円

上場企業：開示資料
非上場企業：(株)帝国データバン
ク、(株)東京商工リサーチより

IT投資予算：2兆3,655億円
(売上の2.1%)

「企業IT動向調査報告書2023」
JUAS ((社)日本情報システム
ユーザー協会) より

DX投資予算：3,548億円
(IT投資の15%)

当社見込み



LaKeel

Proprietary and Confidential

Copyright © LaKeel, Inc. All rights reserved.

23

成長戦略：ラキールが目指す姿



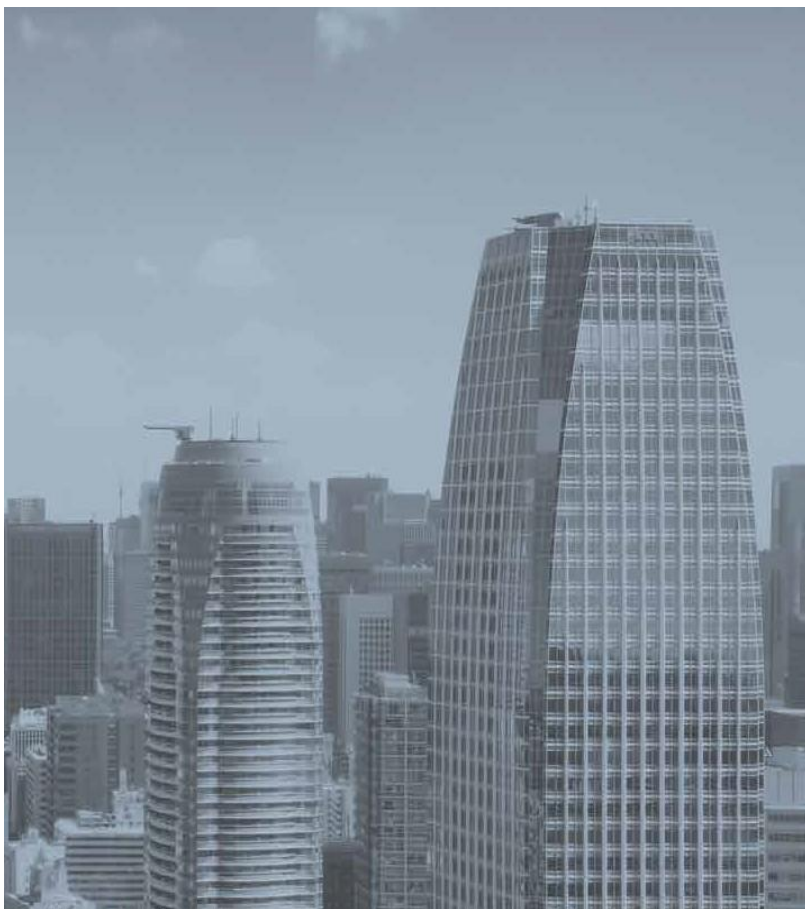
ラキールは高い技術力とビジネスへの洞察力を基にしたDXソリューションを積極的に展開します。

顧客企業のデジタルビジネスプラットフォームとしてLaKeel DX(Application PaaS)を広く採用いただくことで、ソフトウェア部品を企業間で流通させ利益を生み出す「LaKeel DXエコノミー」を構築し、ソフトウェア部品産業という新たな市場を創出します。

ラキールは、アプリケーションのプラットフォーマーとして、これまでのITの在り方にパラダイムを起こし、パーパスとして掲げる『明日の日常を創り出す』を実現してまいります。

4. Appendix

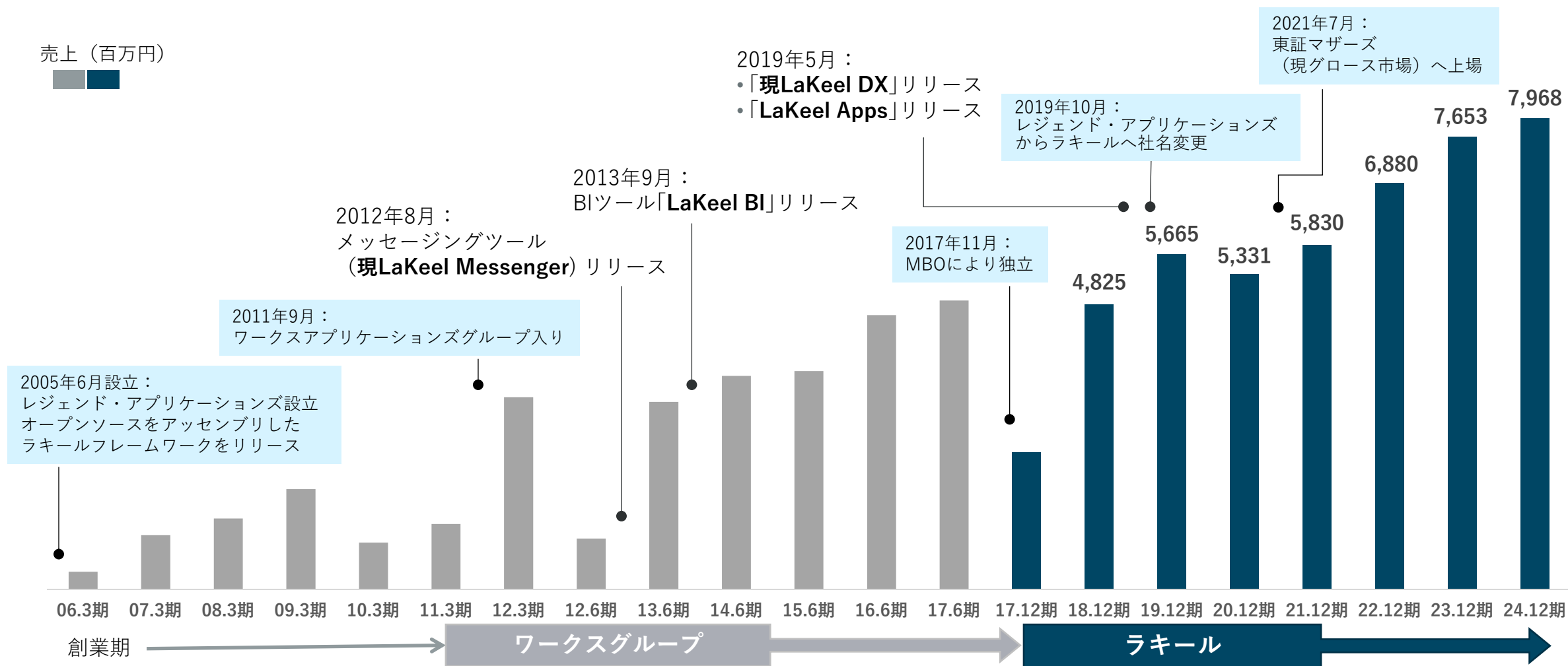
会社概要



会社名	株式会社ラキール (LaKeel, Inc.)
会社創立日	2005年6月10日
資本金	1,016百万円 (2024年12月31日現在)
本社所在地	東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー33階
代表取締役社長	久保 努
事業内容	企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する プロダクトサービスとプロフェッショナルサービスを提供
社員数	453名 (連結 2024年12月31日現在)
当社グループ	Legend Applications China Holding, Inc. 北京利衆得応用技術有限公司 株式会社ZEST
上場市場	東証グロース市場
業種別分類	情報・通信業
証券コード	4074 (ISIN JP3967020003)

沿革

売上（百万円）



*1 18.12期より連結、それ以前は単体 *2 12.6期は決算期変更で3か月 *3 17.12期は、2017年7月1日から12月31日までの旧(株)レジェンド・アプリケーションズの売上を記載



LaKeel

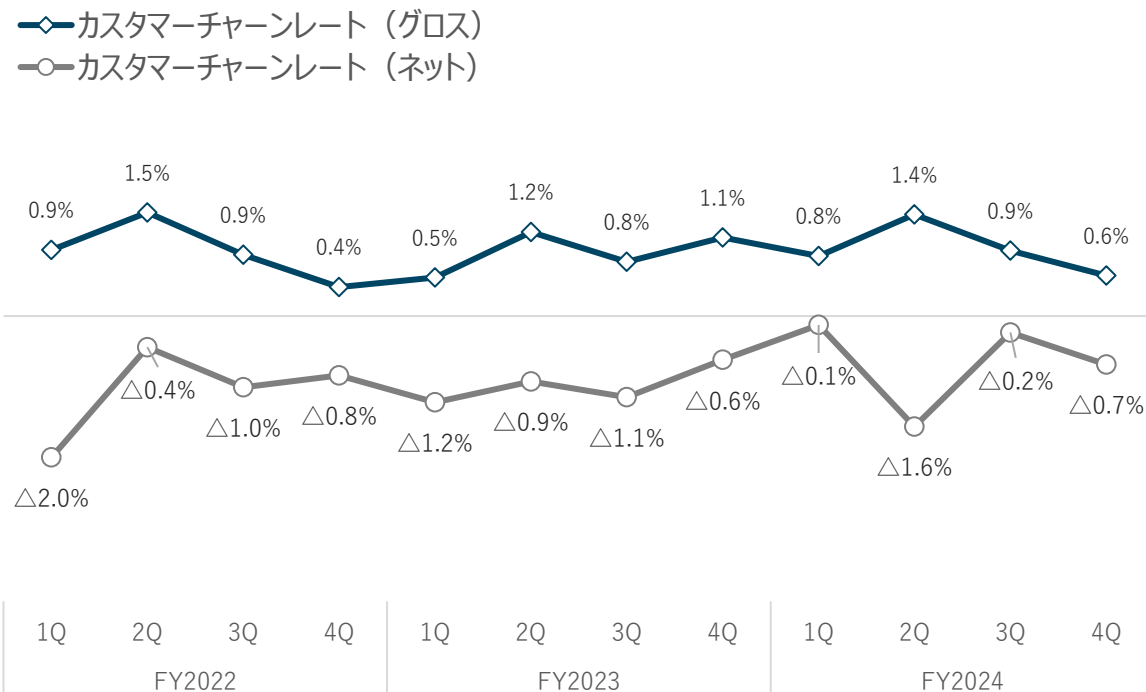
Proprietary and Confidential

Copyright © LaKeel, Inc. All rights reserved.

プロダクトサービス

連続して純増を継続。MRRは前年同期比で20%増

■ LaKeel製品の解約率（チャーンレート）



本資料記載の解約率は、以下の方法により算出

- ・ カスタマーチャーンレート（グロス）
「月中に解約したLaKeel製品ユーザー数 ÷ 前月末時点でのLaKeel製品ユーザー数」の対象期間の平均
- ・ カスタマーチャーンレート（ネット）
「（月中に解約したLaKeel製品ユーザー数 - 月中に新規契約したLaKeel製品ユーザー数） ÷ 前月末時点でのLaKeel製品ユーザー数」の対象期間の平均

■ LaKeel DX/Apps の販売データ（FY2023→FY2024）

	FY2023	FY2024	増減率
【LaKeel製品】			
サブスク売上(年間)	972.2百万円	1,183.0百万円	+21.7%
ユーザー数(期末時)	324	345	+6.5%
MRR(4Q時)	86.7百万円	104.0百万円	+20.0%
ARPU(4Q時)	26万7千円	30万1千円	+12.7%

(内訳)

【LaKeel DX】			
サブスク売上(年間)	228.3百万円	257.3百万円	+12.7%
ユーザー数(期末時)	12	13	+8.3%
MRR(4Q時)	20.4百万円	22.2百万円	+8.8%
ARPU(4Q時)	170万1千円	170万8千円	+0.4%

【LaKeel Apps】			
サブスク売上(年間)	743.8百万円	925.6百万円	+24.4%
ユーザー数(期末時)	312	332	+6.4%
MRR(4Q時)	66.2百万円	81.8百万円	+23.4%
ARPU(4Q時)	21万2千円	24万6千円	+16.0%

- ・ MRR（月間経常収益）：（四半期のサブスク売上高）÷ 3
- ・ ARPU（ユーザー平均単価）：MRR ÷（各四半期末のユーザー数）



LaKeel

Proprietary and Confidential

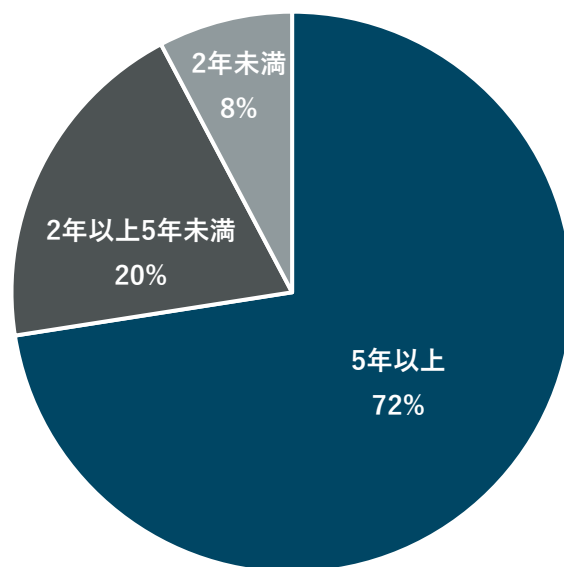
Copyright © LaKeel, Inc. All rights reserved.

プロフェッショナルサービス

安定収益を生み出す顧客基盤

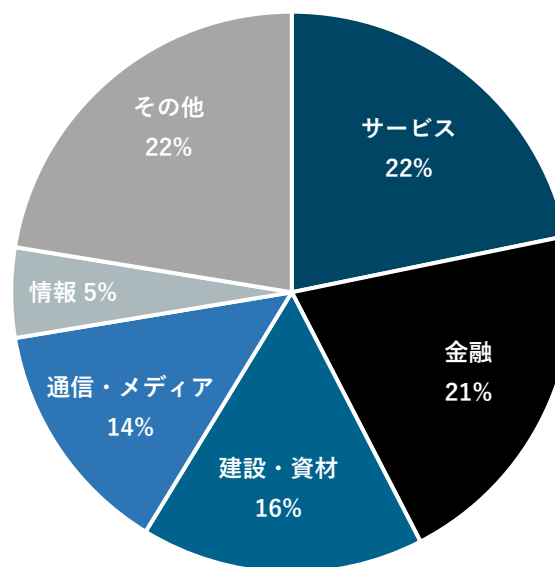
- 創業当時から取引を継続している大手企業を中心にビジネスを展開
- 幅広い業種で200社超の取引実績を有しており、最近はサービス・金融との取引が堅調
- 年間取引額が1億円を超す取引先の売上累計が、全体売上の6割弱を占める

— 取引期間別 —



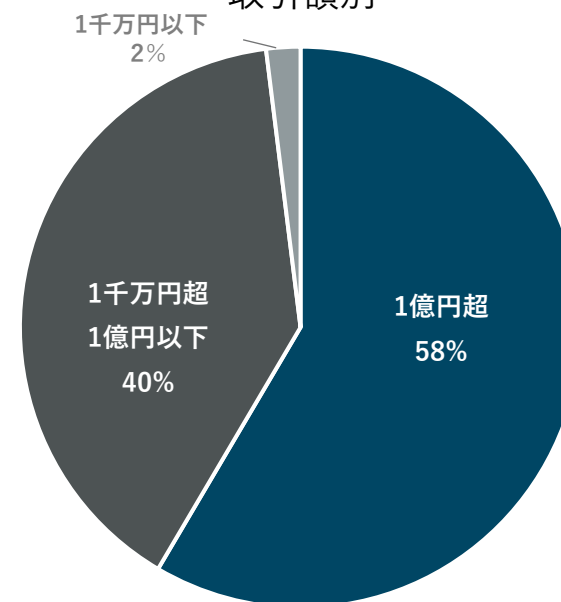
総売上に占める取引期間別割合
(2024年12月期実績)

— 顧客業種別 —



総売上に占める業種別割合
(2024年12月期実績)

— 取引額別 —

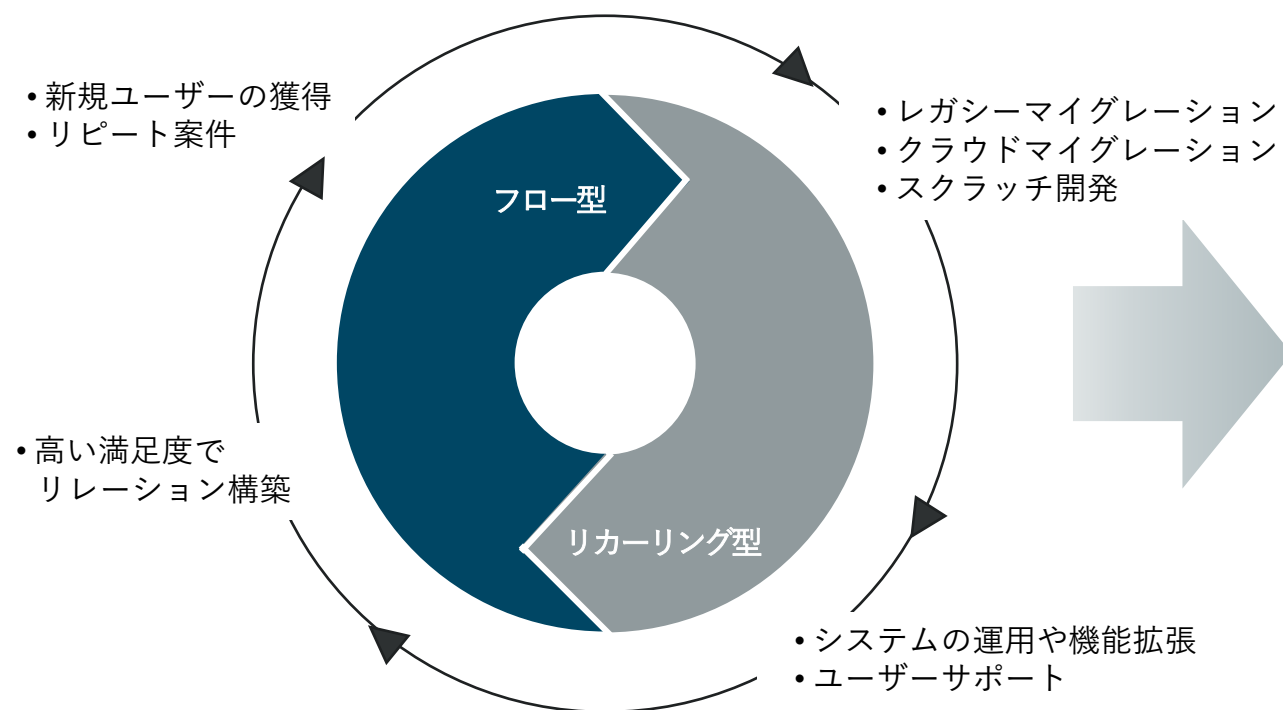


総売上に占める1社当たり年間取引額別割合
(2024年12月期実績)

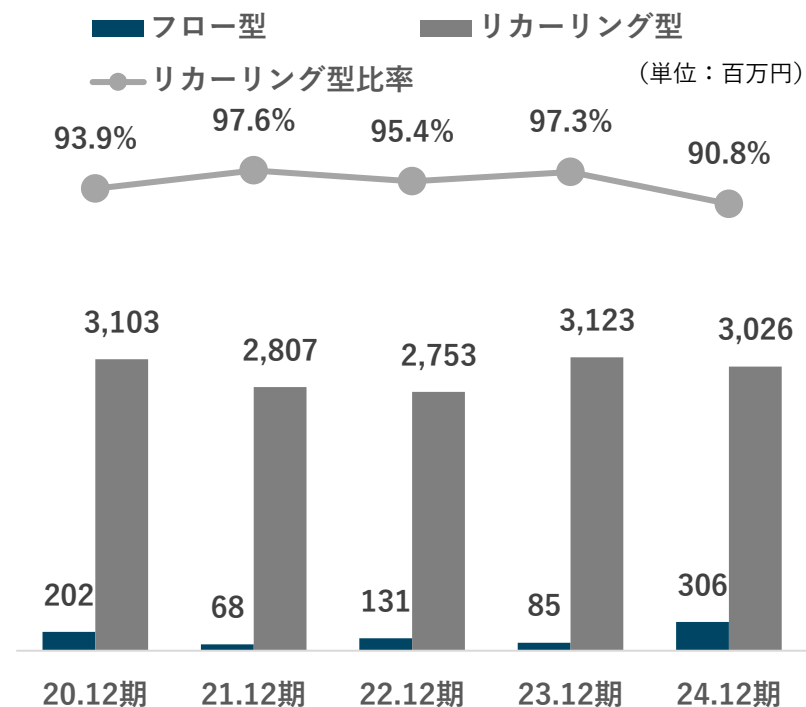
プロフェッショナルサービス

90%を超えるリカーリング売上による安定収益

— 高付加価値循環型モデル —

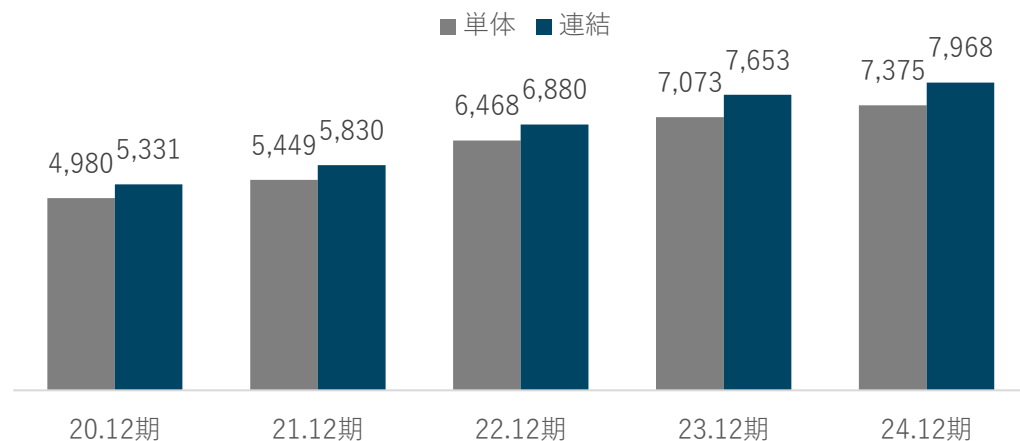


— モデル別売上の推移 —

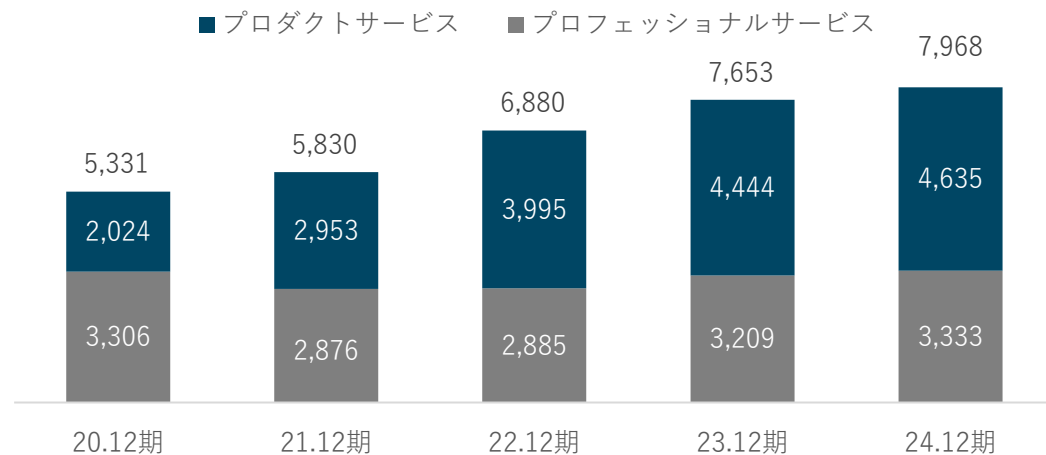


財務データ①

■ 売上 (百万円)

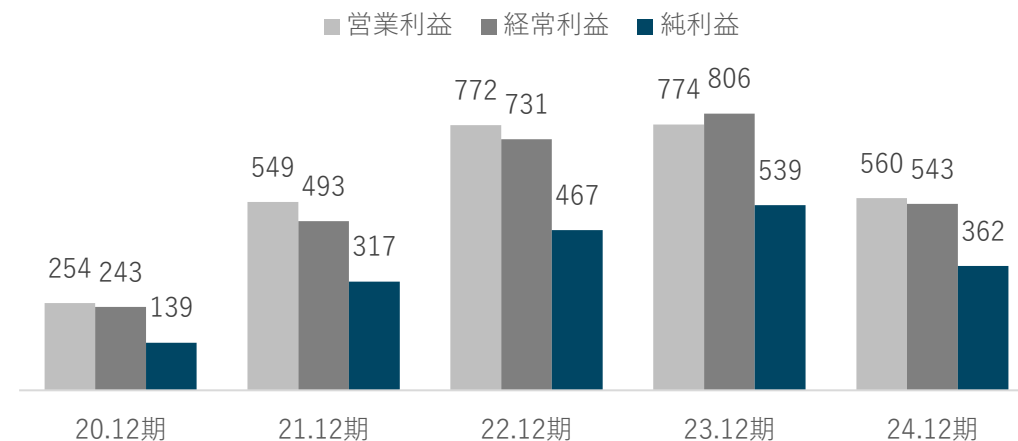


■ サービス別売上 (百万円、連結)

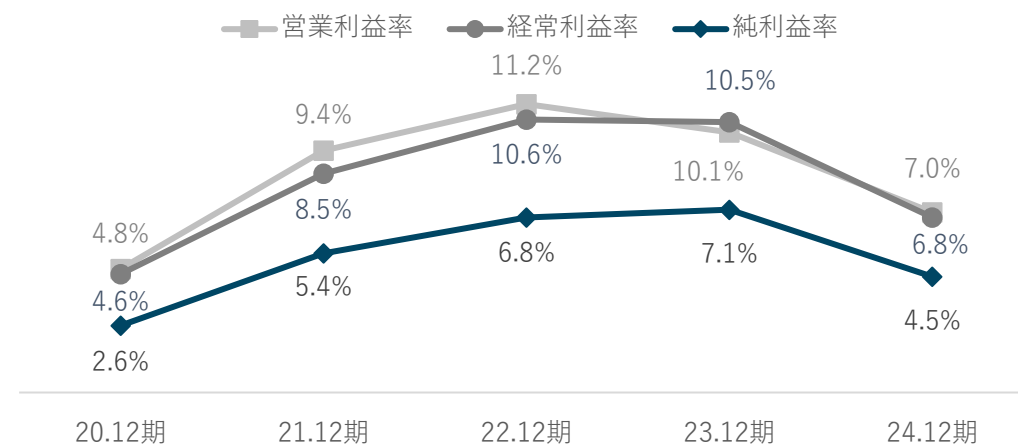


※ 純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載

■ 利益 (百万円、連結)

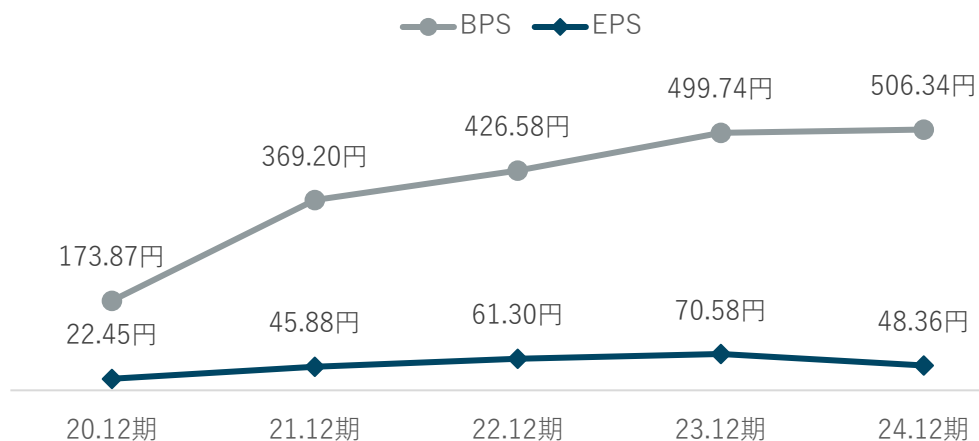


■ 利益率 (%、連結)

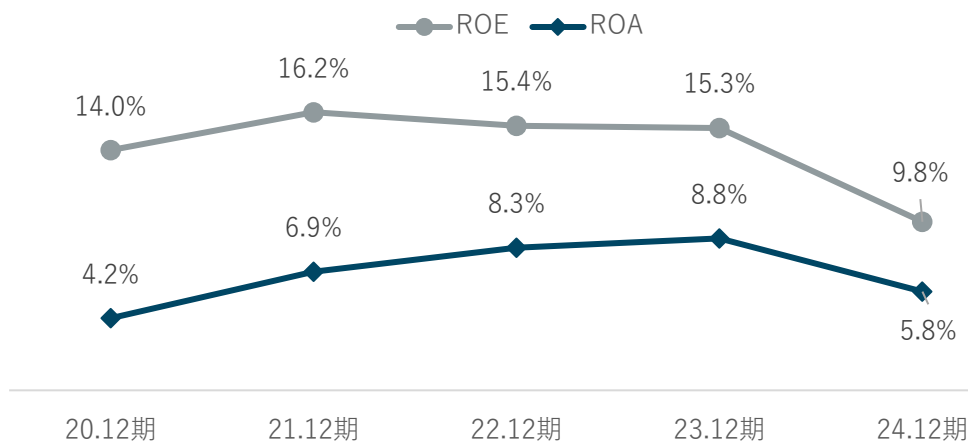


財務データ②

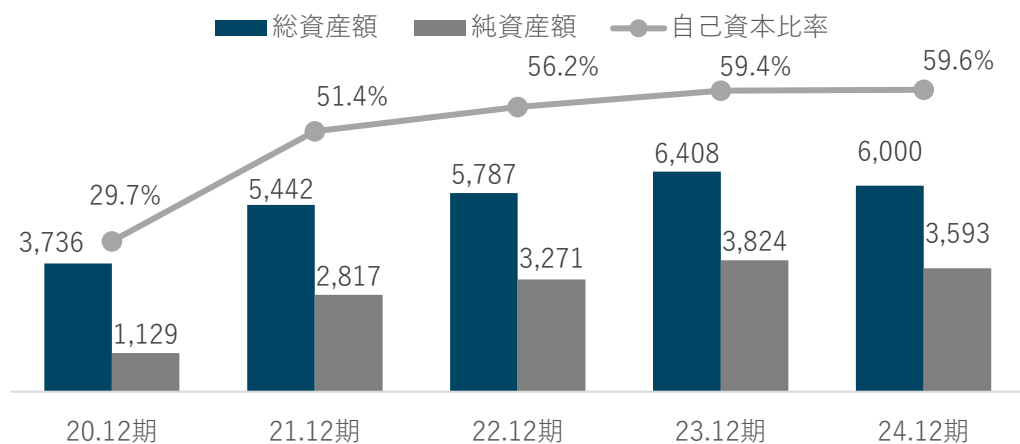
■ BPS・EPS (円)



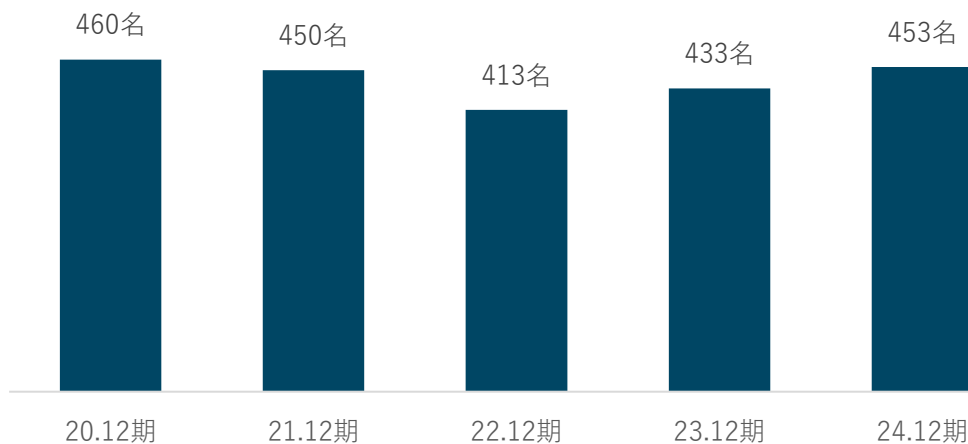
■ ROE・ROA (%)

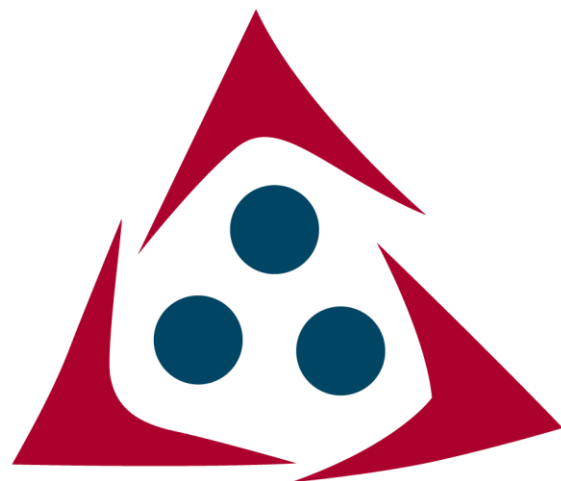


■ 総資産額・純資産額、自己資本比率 (百万円、%)



■ 従業員数 (名)





LaKeel

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

株式会社ラキール

コーポレートサイト

<https://www.lakeel.com>

IR情報

<https://www.lakeel.com/ja/ir.html>

お問合せ

lakeel-ir@lakeel.com



LaKeel

Proprietary and Confidential